

「支持の強要問題」「ゼロから出直しを」

民主党・小林千代美衆院議員「道5区」陣営に違法な選挙資金を提供したとされる北海道教職員組合（北教組）。委員長代理の長田秀樹被告（50）は、19日の初判で「教職員組合の犯罪」を認めた。今後、北教組はどう出直すべきか。政治活動をはじめ教職員組合のあるべき姿は——。教育にかかわる識者や道民らに聞いた。

北大の姉崎洋一教授（教育法）は、教職員組合が果たしてきた役割に「国の政策に批判の目を向けてきた。教研集会を開き、教師自身が自由な立場で教育の技量を身につけてきた意義も大きい」と一定の評価を与える。

一方で「組合員に様々な考えがあるのは当然。組合員に特定の政党支持を強制するのは問題だ」と指摘する。「子供が受ける教育の権利の代弁者たるのが先生の組合の大きな役目。子供や保護者に対して、誇りをもって活動できる

団体であってほしい」

道教育大で非常勤講師として道徳の指導法を教える谷光さん（67）は、札幌市の小学校の元教諭で北教組組合員だった。「少人数教育や教員免許問題など、教育現場は課題が多い。組合の役割は今後、さらに大きくなる」と見る。

だが、北教組の現状には「支持政党の考えを押しつけるだけでは教師の政治的教養は深まらない」と批判的だ。組合員当時は「特定政党支持の撤回」を求め、本部の委員

長選挙に3度立候補したが、いずれも落選した。教員を目指して道教育大に

■北教組のあるべき姿についての道民の意見

教員を目指す男子大学生（19）＝旭川市	事件はショック。教員の組織が一政党に肩入れするのは控えるべきだ。こんな悪い面が目立つなら（北教組には）入らない
教員を目指す女子大学生（20）＝旭川市	事件は問題だが、上から押しつけの教育をさせないためにも組合は必要。子供たちと向き合える組織であって欲しい
2人の子を持つ主婦（49）＝札幌市	北教組は襟を正すべきだ。労働、教育環境を良くするための組合活動は必要なので、もっとわかりやすくアピールして理解を得て
2人の子を持つ主婦（38）＝釧路市	組合が政治活動に没頭できるのは安定している公務員だから。逮捕者が出た影響は大きく、北教組は新しく作り直した方がいい
30代男性組合員＝道東	献金の元は我々のお金なのに、説明がない。特定政党への肩入れは疑問。こんなことが起きて、新人教員も組合に入らなくなる
40代男性組合員＝道南	巨額な金を組合員の知らぬところで幹部が使っていたのは許されない。本部の対応も遅い。平和な教育など組合の意義もあるが、もっと開放的な組織にしなければ世間の共感は得られない
40代男性組合員＝道央	組合員の意に反する金が使われ残念。選挙は個人の判断。特定候補に特化するのはどうか。今後はあるべき姿をゼロから見直して

通う旭川市の男性（19）は、組合について「教育現場の問題を教員同士で話し合えるから必要」と考えるが、「こんな悪い面が目立つなら入らない」と断言。同市の女性（20）は「組合は子供たちと向き合

「教組」へ厳しい目

える組織であってほしい」と望む。

保護者は手厳しい。大学生と中学生の娘2人がいる札幌市の主婦（49）は「もっと外にアピールした方が、親や社会の理解を得られる」。小、中学生の子どもを持つ釧路市の主婦38は「一度なくして新しく作ってみては」。

責任を果たさない北教組執行部に不満を募らせる。道東の30代の男性は「（違法提供された）資金は元々は我々のお金なのに説明がない」。道南の40代の男性も「もう少し開放的にならないと」と求め、道央の40代の男性は「組合が向かう方向をゼロからしっかりと見直し、立て直してほしい」と注文をつけた。

カネの出所依然不明 信頼回復へ険しい道

組織で決めた「推薦候補」を当選させるためには、人だけではなく、頼まれるがままにカネも出す——。公判で見えてきたのは、北教組による選挙運動のこんな実態だ。

再発防止と信頼回復を掲げるなら、まず1600万円の

長田被告は資金提供について起訴内容を全面的に認めた。だがカネは、一体どこからきたのか。裁判官や検事に問いただされ、その回答に詰まるたび、疑問は深まった。

札幌地検の強制捜査から3カ月。北教組はこの間、記者会見はおろか、組合員にも正式な説明をしていない。当初、事件については「分からな

（小林舞子）